



こころ・ことば・からだで学び合う

学校の中心に子どもたちがいて、学校・地域・家庭の皆で支え合っていくことを大切にしています。

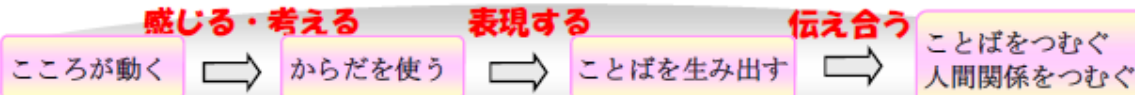
修立小学校は、先月新校舎・新校庭の竣工式を終え、新しい歴史がスタートしました。学校教育目標を「豊かな心、確かな学力を身につけ、集団の中で意欲的に取り組む子どもの育成」とし、子どもたちの心に寄り添いながら、授業づくりや温かい仲間づくりを進めています。

<子どもたちが学びを楽しむ姿>

学校生活の中で、「わかった、できた」という達成感や「がんばった」という満足感、「自分の発見や発言が役立った」という有用感をもたせる。

鳥取市立修立小学校

新校舎



笑顔いっぱい 歌声いっぱい
あたたかい風がふく学校

『誇り』を育てる教育活動

『ふるさと』を作曲した岡野貞一、自由律俳句の尾崎放哉の出身校として、資料コーナーを設置し、年間を通して教育活動を行う。夢や希望、志を高くもち、がんばるすばらしさを感じさせる。

- ◇今月の歌で、『岡野貞一の歌でつづる一年間』と題し、朝の会や集会等で歌ったり、地域の方と合唱したりする。
- ◇体感した四季の移り変わりを俳句に表し、掲示し、表現のよさを全校が見合い、言葉で表現する楽しさを感じる。

五感がはたらく環境づくり

校舎新築等で学校を取り巻く環境が変化したこともあり、「学校内に四季を取り戻そう」と様々な取組をしている。季節の移りゆく彩りを感じ取れる心、感覚を豊かな心の一つととらえている。

- ◇校門横の柿の木畑や樺の木陰、シンボルツリーの銀杏の木など、憩える、和める、木漏れ日のある空間づくりを大切にしたり、委員会活動で緑を増やしたりする活動をする。

心を動かす授業づくり

直接体験を重視し、本物にふれたり、教材のもっているよさを授業に生かしたりすることで、共感や実感を伴った授業を行う。

- ◇理科や生活科では、果樹園や樺谿公園などの野外に出かけて観察し、見つけたことや感じたことを友だちと交流する。
- ◇地域の人材を活用して、音楽科では我が国の伝統的な音楽「能」や「箏」を体験する学習を行い日本文化を味わう。

こころでわかる からだでわかる

一人一人が輝く教育の推進

自尊感情を高めることを大切にし、人との出会いや体験活動を通して、よりよい生活をつくっていかうとする態度を育てる。また、仲間とともに学ぶ集団づくりに努める。

- ◇「なかよし班」などの異年齢のかかわりを大切にする。
- ◇様々な環境や背景の子どもの実態把握と子ども理解につながる研修を行い、適切な指導及び支援に生かす。
(子ども学園希望館・エール等関係機関との連携)



「箏で演奏」

学校・地域の特色を生かし、心を動かす学校教育を展開していくことは、子どもたちに学ぶことの楽しさやおもしろさを実感させます。そして、「子どもたちの心にここで育ったという『誇り』を育む」ことにつながります。



「柿の収穫」